

至誠館大学

科目名	統計学			コード			
英語表記							
担当教員名	梅本 克			年度	平成28年度		
基準年次	1年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態		授業形式		履修形態	選択		
授業概要							
統計学に関する基本的な考え方と基礎的な統計量の意味と計算方法、解釈を具体的な事例を通して学びます。経済や経営の分析において、どのような形で統計学が応用されるかについて理解する基礎的な力を養うことを目的としています。							
到達目標							
統計学の基本的な考え方を修得する。 基礎的な統計量の意味と計算方法、解釈ができる。							
授業計画							
第1回	ガイダンス：講義の進め方、単位の評価方法、統計学とは						
第2回	基本統計量①：平均、分散、標準偏差						
第3回	基本統計量②：平均・分散の性質、中央値・四分位数						
第4回	度数分布：度数、相対度数、ヒストグラム						
第5回	格差と平等：ローレンツ曲線、ジニ係数						
第6回	時系列データ：時系列グラフ、変動係数、無名数						
第7回	標準化①：標準化変量、偏差値						
第8回	標準化②：標準化の意味と証明						
第9回	相関関係①：散布図、相関係数						
第10回	相関関係②：最小2乗法の概略、決定係数						
第11回	確率：確率の定義、確率分布表、確率密度関数						
第12回	社会調査：母集団と標本、統計的推測の考え方						
第13回	確率計算①：正規分布						
第14回	確率計算②：正規分布の応用、一様分布						
第15回	期待値：期待値の定義、推定と検定の紹介						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
期末試験の点数により評価します。ただし、小テストを2回程度実施し、それらの評価を適宜加算します。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				10		70	20
授業外学習			テキスト、教材				
配布資料に目を通し、用語の確認をする。 授業中に解いた問題を見直し、関連問題にチャレンジする。			配布プリントを中心に講義を行います。ただし、体系的な理解のためには標準的な統計学の教科書を読むことを強く推奨します。				
参考書			受講生へのメッセージ				
講義中に適宜紹介します。			1)配布したプリントと電卓を毎回持参して下さい。 2)積み上げ式の講義ですので、毎回の出席を前提とした講義となります。				
キーワード							
統計学、確率、経済学、経営学							